

修学旅行業務委託業者選定プロポーザルの実施について

和歌山県支部：上富田町立上富田中学校
主査 野見山和哉

【背景と目標】

修学旅行は、学校教育において重要な活動であり、生徒たちにとって貴重な学習の機会です。しかし、修学旅行の企画・実施には多くの手続きや業務が伴い、教員だけでは効率的な運営が難しい場合があります。そのため、学校事務職員が教員と協働しながら修学旅行の入札実施に参画することが重要となります。

本プロポーザル実施の目標は以下のとおりです。

- ① 教員と学校事務職員が協力し、修学旅行のプロポーザル入札を効率的かつ公正に実施します。
- ② 生徒の意見や要望を反映させながら、充実した修学旅行の計画を立案します。
- ③ 予算や安全面を考慮しながら、最適な修学旅行プランを選定します。

【協働・取組】

教員の専門性と学校事務の業務知識を組み合わせることで、より総合的な修学旅行計を企画することが可能となります。また、学校事務職員のサポートにより、教員は教育活動に専念することができます。

取り組みの手順

- ① 日程や行程等の確認
- ② 仕様書の作成
- ③ 実施要領の作成
- ④ プロポーザル実施の学校長決裁
- ⑤ 旅行会社へプロポーザル実施の連絡
- ⑥ 必要に応じて旅行業者あての説明会の実施
- ⑦ 質問回答
- ⑧ 旅行業者からの企画ヒアリング
- ⑨ 審査委員会による提案に対する審査
- ⑩ 落札業者決定の校長決裁
- ⑪ 旅行業者への結果通知
- ⑫ 契約

【成果と課題】

成果としては、以下のとおりとなります。

- ① プロポーザルの入札プロセスが効率的に進出し、時間とリソースの節約が実現します。

- ② 学校事務職員の業務知識を活用することで、入札要項や資料の整備がより適切に行われ、提案されるプランの質が向上します。
- ③ 生徒の声を反映させるための意見交換が円滑に行われ、修学旅行の内容がより充実したものとなります。

課題としては、以下のとおりとなります。

- ① 教員と学校事務職員のスケジュール調整やコミュニケーションの課題が存在し、円滑な協働が必要です。
- ② 入札の審査基準や評価方法の明確化が求められ、公正性を確保するためのガイドラインの整備が必要です。
- ③ 予算や安全面の制約により、全ての要望を実現することが困難であるという課題があります。

【教訓】

教員と学校事務職員の協働は、修学旅行プロポーザルの効果的な実施において不可欠であり、双方の専門性と知識を組み合わせることで最良の結果を生み出すことができます。一方、予算や安全面の制約に直面した場合、生徒の意見や要望を十分に考慮しつつ、最適なバランスを見つけるための適切な意思決定が求められます。

この事例から、学校事務の校務運営参画が修学旅行の計画において重要であり、教員と学校事務職員の協働が効果的であることは明らかです。課題を克服しながら教訓を活かし、今後の修学旅行のプロポーザル実施においてより良い結果を得ることが期待されます。

なお、今回の選定プロポーザルの実施は、学校簡易版として設計しているため、本来の競争入札の仕様とは違う部分があります。